

各常任委員会の 主な質疑から

総合企画水道常任委員会

問 DV防止・被害者支援基本計画について、若い人に対する広報・啓発はどうするのか。

答 DVの予防セミナーについては、平成十八年度、高校など十五校からの応募があり、今後実施していく。

問 また、若者たちが実行委員会を立ち上げて実施する『DVを考える若者フォーラム インチば』を開催し、広報・啓発に努めていく。

総務常任委員会

問 県では、合併推進構想の策定をどのような考え方で進めているのか。

答 地方分権の時代を迎えて、三位一体の改革が進み、権限や財源が地方に移譲される中で福祉やまちづくりなどは、基礎自治体である市町村が、みずから進めて行くべきものと考えている。

問 今回の合併第二ステージでは、市町村の意見を聴きながら、中長期的な視点から、それぞれの地域の理想的な姿を考え、合併推進構想を策定していきたい。

健康福祉常任委員会

問 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例案」の撤回は、修正案の提出を前提としたものと考えていいのか。

答 それとも全くの白紙撤回なのか。

問 基本的には、原案の趣旨や基本理念を損なうことがないよう注意しながら、修正すべき内容を議論し、さらに多くの県民の理解を得られるものにしてほしい。

環境生活警察常任委員会

問 地質環境インフォメーションバンク事業について、市町村からデータの提供を受け、一層の充実を図るべきと思うがどうか。

答 市町村保有のデータについては、平成十七年度末までに十七市町分のデータを入力し、今後さらに、十四市町村からデータの提供を受けることとしており、その他の市町村についてもデータの入手に努めるなど、事業の充実を図っていく。

商工労働企業常任委員会

問 中小企業においては後継者がいないために廃業するものが多いと聞くが、中小企業の事業承継問題についてどのように考えているか。

答 中小企業の存続は、雇用の確保、企業の有する技術・技能の継承、地域経済の活性化などにとって非常に重要な問題であると認識しており、現在、策定中の中小企業元気戦略においても中小企業の方々から多くの意見

をいただき、検討を進めていくところである。

農林水産常任委員会

問 農地・水・環境保全向上対策の施策を実施する背景は何か。

答 今回の農政改革では、担い手に農業施策を集約する一方、水路などの施設管理が難しくなっている状況をカバーするため、地域住民も参加した組織により、農村地域の保全を行っていく必要がある。

問 この施策は、今まで県が進めてきた集落営農やちばエコ農産物など県が進める方向に沿ったものである。

県土整備常任委員会

問 公共工事等における、いわゆる『ダンピング受注』に対してどのような対策をとっているのか。

答 低入札価格調査制度を設け、予定価格の三分の二から八五％の範囲内で主務課長が定める調査基準価格を下回る入札があった場合には、適切な工事が行えるかどうか調査を実施することとしている。

文教常任委員会

問 教員の新規採用について、大量退職により採用者数が増加しているが、教員の質の低下への対策はどうか。

答 現在、県外の大学での説明会など積極的な広報活動や教職経験者の特例選考等を行っているが、今後は、県外における採用選考の実施を検討するなど、教員の質の確保に努めていきたい。

可決された議案

◆条例の制定(一件)
▽千葉県ちば県民共生センター設置管理条例

◆条例の一部改正(十三件)
▽議会の議員その他非常勤の職員公務災害補償等に関する条例

▽千葉県中央駐車場条例

▽千葉県県税条例

▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県公害防止施設整備等促進条例

▽千葉県身体障害者療養施設設置管理条例

▽千葉県袖ヶ浦福祉センターの設置及び管理に関する条例

▽千葉県青少年女性会館設置管理条例

▽千葉県中小企業融資損失てん補条例

▽千葉県県営住宅設置管理条例

▽千葉県水道事業給水条例

◆その他(八件)

▽市の境界変更

▽契約の締結(三件)

▽専決処分承認(二件)

▽人事案件(二件)

▽第三十一年オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

▽北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

◆可決された意見書

▽国勢調査の抜本的見直しを求める意見書

▽高齢者の認知症予防対策を早急に求める意見書

▽「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書

▽義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書

▽国における平成十九年度教育予算拡充に関する意見書

▽WTO農業交渉に関する意見書

▽国民保護計画における「事態認定前の準備」のための情報をより密に地方に提供すべきことを求める意見書

◆採択された請願

▽「農地・水・環境保全向上対策」を求めることについて

▽WTO農業交渉に関する意見書の提出について(二項)三項

▽理容所及び美容所における衛生の向上を求めることについて

▽関税引き下げとミニマム・アクセス米の拡大に反対することを求める意見書の提出について

ちば中学生県議会において 可決された決議

平和で安全な千葉県づくりに関する決議
全国各地で、小・中学生が被害されるなどの痛ましい事件が相次いで起きています。今、青少年を巡る犯罪は、大きな社会問題となっています。

私たちの学校生活に目を向けても、いじめや不登校、人間関係の希薄化の問題があり、心の豊かさが必要な問題となっています。

また、学校外に目を向けても、警察関係者をはじめ、地域の人たちの連携による防犯活動など、日夜、ご努力をいただいているにもかかわらず、不審者等による事件・事故が起きており、私たちの身の安全が脅かされています。

平和で、安全に暮らせるということは、私たちが社会生活をしていく上でもっとも大切なことであり、平和で安全な社会の実現は、全ての県民の共通した願いです。

その実現のためには、地域の人たちとの連携による防犯活動はもろろんのこと、私たち一人一人が、普段から、友だちをはじめ、人を思いやる心を育み、心豊かに育み、心豊かな人間になるように努力することが必要だと考えます。

その立場から、ちば中学生県議会として、私たち中学生はもろろん、全ての千葉県民が、他人を思いやる心を育み、平和で安全な千葉県の実現に向け、一層努力していただくことを、強く希望します。



全員一致で決議を採択

議会において選任された議員	
監査委員	田中由夫(自民党) 湯浅和子(民主党)
君津広域水道企業団 議会議員	吉本 充(自民党)

(平成18年7月7日現在)

常任委員会委員

委員会名	総合企画水道	総務	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文教	
定数/現員	12/12	13/12	12/11	12/12	12/11	12/11	12/11	13/12	
委員長	木名瀬捷司(自民党)	皆川 輝夫(自民党)	石橋 清孝(自民党)	山中 操(自民党)	内田 秀樹(自民党)	欠員	西尾 憲一(自民党)	矢野 光正(自民党)	
副委員長	小島 武久(自民党)	谷田部勝男(自民党)	信田 光保(自民党)	白井 正人(自民党)	白井 正一(自民党)	渡辺 芳邦(自民党)	伊藤 丈(自民党)	西田三十五(自民党)	
委員	自民党	筋 崇一	石井 準一	中村 九蔵	金子 和夫	齋藤 美信	笹生 定夫	篠田 哲彦	
		宮内 三朗	斎藤 万祐	浜田 穂積	本清 秀雄	堀江 秀夫	八代 俊彦	田中 由夫	
		田久保尚俊	庄司 健男	川名 寛章	武 正幸	酒井 茂英	遠藤 澄夫	小高 伸太	
	民主党	鈴木 良紀	中村 昌成	田口 賢	湯浅 伸一	成尾 政美	石井 利孝	田中 宗隆	阿部 紘一
		本間 進	密本 俊一	服部 友則	穴倉 登	大塚 堯	伊藤 豊彦	佐藤 正己	吉本 充
		山口 登	近藤喜久夫		篠塚 年明			田中 豊彦	田中 豊彦
		河野 俊紀	田中 信行人	宮 寛	杉田 守康	黒田 雄	田中 明	加賀谷 健	湯浅 和子
公明党	赤間 正明	山崎とよ子	小橋 迪夫	吉野 秀夫	高崎 照雄	藤井 弘之	塚定 良治	塚定 良治	
共産党		小松 実	丸山 慎一				小松 敦	三輪 由美	
社民・県民連合	村上 克子							加藤マリ子	
ネット・無所属	吉川 洋		大野 博美	山本 友子					
水と緑の会						森田 三郎			

(平成18年7月15日現在)

議会運営 委員会委員

定数/現員	16/15
委員	浜田 穂積(自民党)
	密本 俊一(自民党)
委員	遠藤 澄夫
	藤中 宗隆
	近藤喜久夫
	伊藤 丈
	大塚 堯
	石橋 清孝
	皆川 輝夫
	西尾 憲一
	白井 正人
	信田 光保
委員外議員	丸山 慎一
	加藤マリ子
	山本 友子
	森田 三郎

(平成18年7月11日現在)